

株主通信 ASAHI RUBBER INTERIM REPORT

ごあいさつ

当社にしかできない、新しい付加価値の創造に果敢に挑戦していきます。



代表取締役社長

渡邊 陽一郎

自動車内装照明用のASA COLOR LEDや認証・認識ビジネスに対応するRFIDタグ用ゴム製品などの受注が、前期に引き続き堅調に推移しています。

当社の技術を生かした新しい製品開発にも取り組んでいます。

2020年に向けた三ヵ年中期経営計画「V-2計画」の二年目となる2019年3月期は、「お客様にとって御役に立つ腕前を磨き鍛えて質を高める」を経営方針とし、コア技術やものづくりの本質を鍛えて事業を成長させること、経営基盤を磨き着実な成長に向けて岩盤を固めることの二つに重点を置いています。

この第2四半期では、期初の計画どおりの実績を上げることができました。自動車

「照明器具用白色シリコンインキ塗膜」に関するJIS規格化では、当社が製品開発において得てきた知見が反映されており、これによりLED照明の高輝度化や省エネ、長寿命化の貢献が期待されます。今後も光を高反射する白色インキの開発を推進するとともに、多くのお客様にご評価していただきながら、採用拡大に向けて着実な活動を進めます。

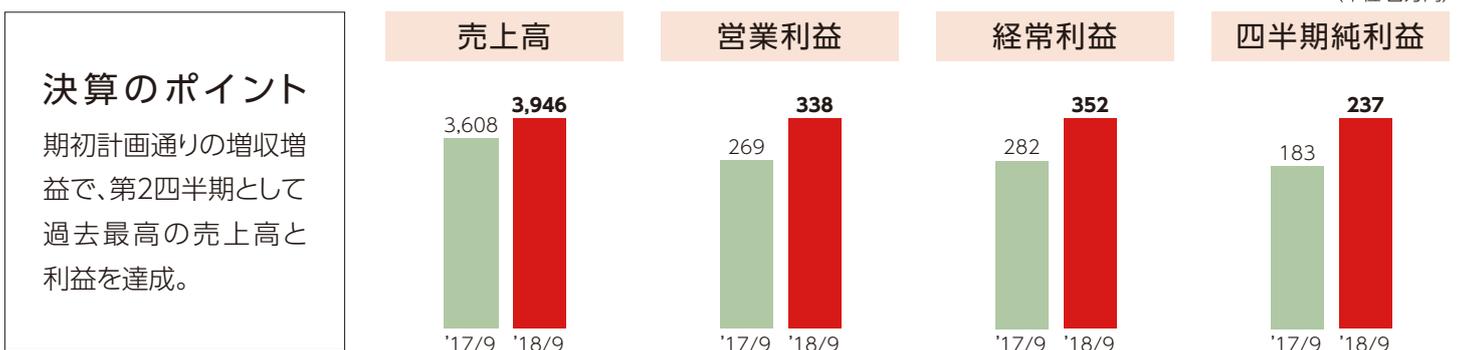
ここに来て、グローバルな枠組みが変化してきており、当社を取り巻く環境も見通しにくい状況になってきていますが、IoTやAIなどがツールとなる第四次産業革命の到来は、私たちに「存在理由」を考えさせ、新たな取組みにつながる好機とも感じております。

今期のスローガンは、みんなで考え、みんなで次に向けた取り組みを続けることを目指し、「WE ARE」としています。当社のコア技術をどう生かしたら社会の課題を解決できるのか、さらに次の時代を見据えてどう育てていくか。当社にしかできない新しい付加価値をお客様に提供していくために、現場の回転力をさらに上げてオープンなコミュニケーションから生まれるチャレンジを奨励し、果敢に挑戦していきたいと考えています。

今後とも、朝日ラバーグループの成長にご期待いただき、より一層のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

第49期 第2四半期実績 連結財務ハイライト

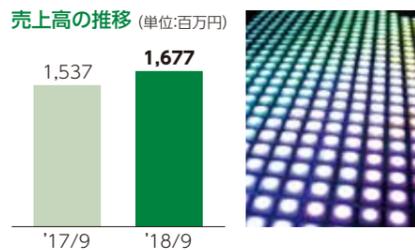
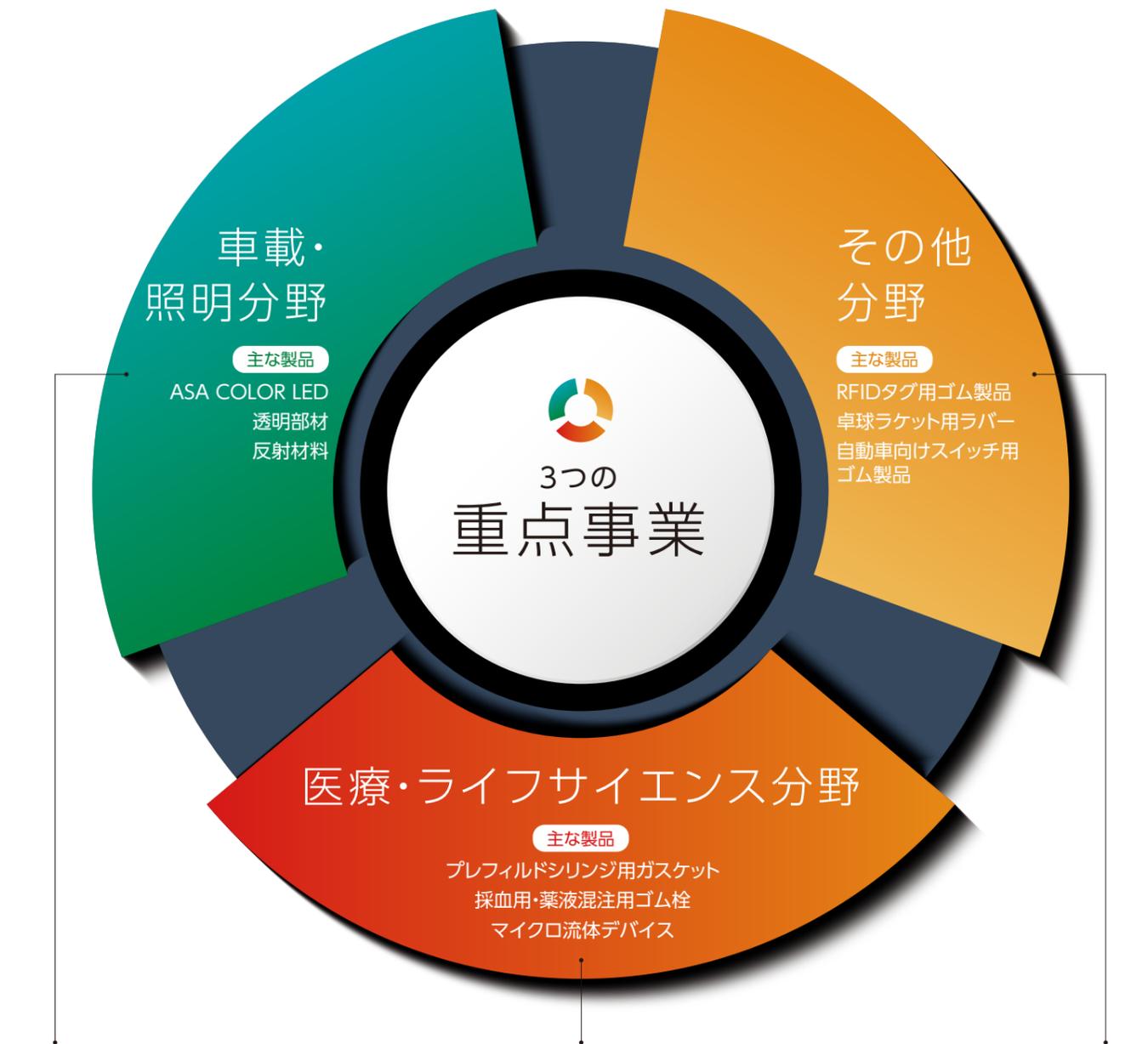
(単位:百万円)



自動車向けの主力製品のASA COLOR LEDとRFIDタグ用ゴム製品などの受注が好調で増収となりました。利益面では、販売の増加と原価低減活動の継続実施等によりニケタの増益を達成しました。

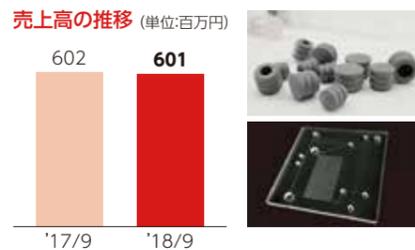
分野別 市場の動向

車載・照明分野では自動車市場に減速感はあるものの、当社製品を採用いただいた車種の販売が好調に推移しました。医療・ライフサイエンス分野は全般的に安定しています。その他分野では、認証・認証ビジネスが広がっています。



前年同期比109.1%。自動車内装照明用のASA COLOR LEDは前年同期比110%で引き続き受注は好調です。照明製品では、透明部材のレンズ製品や蛍光体応用製品、反射材料の白色シリコンインキなど、市場供給を着実に進めています。

▶ 色と光のコントロール技術の深化でお客様の細かいニーズに対応していきます。



前年同期比99.8%。ディスプレイ用ゴム製品であるプレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用ガスケットや採血用・薬液混注用ゴム栓などの受注が安定して推移いたしました。

▶ 表面改質及びマイクロ加工技術、素材変性技術を生かして独自製品の開発と市場投入を進めます。



前年同期比113.6%。認証・認証ビジネスに対応するRFIDタグ用ゴム製品は、主に北米市場での受注が好調で前年同期比138.4%となっています。卓球ラケット用ラバーは前年同期比96.7%と微減。

▶ 各製品とも新機種向けの応用展開が進み、早期の市場投入を目指します。

Project Story

JIS規格制定プロジェクト

原案作成から参画した「照明器具用白色シリコンインキ塗膜」の標準化

2010年より白色シリコンインキとしてASA COLOR RESIST INKを開発し、販売を進めてきましたが、当社が原案作成から参画してきた「照明器具用白色シリコンインキ塗膜」に関するJIS規格が制定されました。プロジェクトに携わった営業本部の金平隆史課長に規格化までの道のりについて伺いました。



営業本部 営業1部 大宮営業所 金平 隆史 課長

今回、規格化を進めようとしたきっかけを教えてください

武蔵野銀行様から標準化セミナーのご案内を頂き、そこで新市場創造型標準化制度の他社の事例を伺って、様々なことが規格化できるのだということがわかりました。当社の提案でJISが作成できればビジネスチャンスにつながることや朝日ラバーの歴史に残るという気持ちがあり、ぜひチャレンジしたいと思いました。

規格の特徴について教えてください

当初はインキの規格(製品規格)だろうということで進めていたのですが、製品の規格とすると粘度や膜厚を規定する内容の規格になります。しかし当社が規格によってアピールしたいのは「反射率が良く、熱に強い」という部分で、これはインキが固まった後の特性なのです。そこで、塗膜に対して熱を加えて黄変がどのくらいか、薬品に浸して剥離が無い、燃やした時にどういったガスが発生するのかなど、塗膜の性能評価とするのが一番良いということになりました。

材料の配合に特許性やノウハウがありますが、規格自体は誰でも使える内容となっています。

規格化を進める上で特に気をつけたことは何ですか？

業界全体の活性化につなげることに気をつけ、当社のインキを従来の白色光反射部材に塗工していただくことにより、従来部材の機能を向上させ照明器具全体の省エネ、長寿命化が出来ることを知っていただきました。

お客様からのニーズを基に開発していたものですから、ある程度マーケットが伸びるだろうという予測はありましたので、特許のいいところ、標準化のいいところ、両方を合わせたいということ考え、JIS化を進めました。

当社の社訓には「社会に奉仕しよう」とありまして、JIS化はこの社訓にも合致し、最終的には朝日ラバーの仕事として社会貢献の証が後々まで残るだろうと考えました。また、標準化への取り組みで「LED照明器具には白色シリコンインキの文化」を作り、照明器具の省エネ、長寿命化のお役に立ちたいと思っています。一緒にJIS化した委員の皆様とは将来のパートナーということにもなりますし、業界の和も図れるように思っています。

引用するJIS規格を探し出して理解するだけでも根気のいる作業でしたが、規格となる評価方法、再現試験、用語、文章の統一など、日本規格協会をはじめ委員の皆様からありがたいご指導、ご協力をいただき、お陰様で規格化することができました。

規格化がビジネスを進める上でどのように役立ちますか？

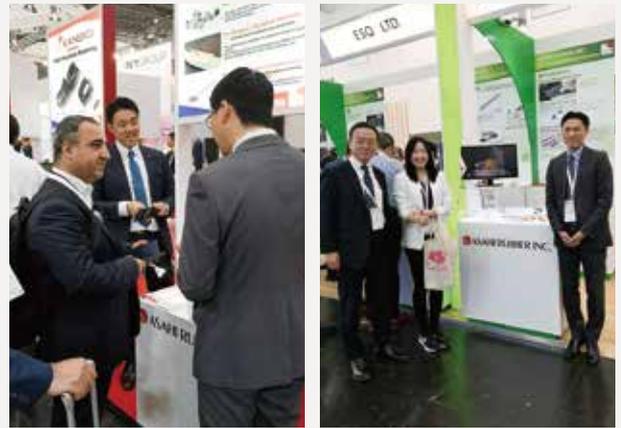
当社がインキを手掛けていること自体、一般照明のお客様にはあまり知られていない状況でしたので、長寿命で光の反射効率が良いインキがあるということを知っていただくだけでも効果があると考えています。今回のJISづくりでは、実験をはじめ、当社の技術・製品自体のPR周知活動にもつながったと考えています。

特に省エネ、長寿命のLED照明器具や、過酷な環境で使用される照明用途の白色光反射材料として、この標準化により照明器具の性能、機能に貢献していきたいと思っています。



ドイツの医療系展示会 「COMPAMED2018」に出展

11月12日から15日までドイツのデュッセルドルフで開かれた「COMPAMED2018」に福島県とさいたま市のブース内に出席し、新規製品のチェックバルブ、超薄膜シリコンシート等に加え、今回の目玉として感圧ラバーセンサを出展しました。ドイツに限らずロシアやイタリアといった多くの国々の方々から、医療の現場にて輸液バグの残存量管理等として使用を検討したいと多くの問い合わせをいただきました。ドイツでの世界最大の医療機器での展示経験とお客様の声をもとに、市場拡大と今後の製品戦略の参考にしていきます。



株式の状況／会社概要 (2018年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	11,500,000株
発行済株式の総数	4,618,520株
株主数	2,547名

大株主

株主名	(株) 持株数	(%) ^{※1} 持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	477,500	10.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	237,100	5.2
佐藤尚美	228,700	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	222,528	4.9
株式会社東邦銀行	207,400	4.5

※1 持株比率は自己株式(53,076株)を控除して計算しております。

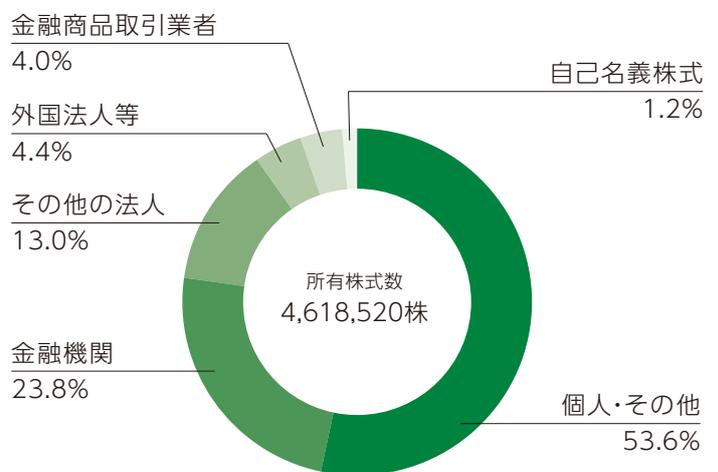
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL: 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asahi-rubber.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有者別株式の分布状況



会社概要

商号	株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.) http://www.asahi-rubber.co.jp/
所在地	埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
設立	1976年6月(創業1970年5月)
資本金	5億1,687万円
証券コード	5162
正社員数	297名
主な業務内容	工業用ゴム製品の製造・販売
主な事業所	本社：埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2 大阪営業所／名古屋営業所／福島工場／ 第二福島工場／白河工場／白河第二工場
役員	取締役会長 横山 林吉 代表取締役社長 渡邊 陽一郎 取締役 田崎 益次 取締役 滝田 充 取締役 高木 和久 取締役(監査等委員) 亀本 順志 取締役(監査等委員)(社外) 馬場 正治 取締役(監査等委員)(社外) 筑紫 勝磨